

一粒の麦

「一粒の麦が地に落ちて死ねば、多くの実を結ぶ」

という言葉は、教会の歴史の中で、イエスさまのあがないの死を意味するものとして受けとめられてきました。

聖書の中で使われている「あがない」は、解放の意味で使われています。身代金を払って奴隷を買い戻すという一般的な意味では、奴隷はあくまでも受け身の状態です。契約ですから解放される人も呼びかけに答えなければなりません。

イエスさまの死は、神さまがイエスさまの死において、人びとを奴隷の状態から解放することを意味しています。これは、今まで人びとが自らのうちにある神の力に気がつかないで、何らかの力を他に求めようとしていた状態からの解放を示しています。

もし、私たちがイエスさまの死に直面して、目覚めないなら、イエスさまの死は無駄になってしまいました。弟子たちがイエスさまを見捨てて逃げ去ったままであったのなら、弟子たちにとってイエスさまの死は、ただ挫折と失望をもたらすだけの出来事で終わって

いたでしよう。

イエスさまの死は、弟子たちに死を恐れない勇気と、

自分の力で物事を解決していこうとする行動力を

与えました。弟子たちはイエスさまの死後、いろんな

所へ出かけて行って、イエスさまの福音を人びとに

伝えていきました。

私たちも弟子たちと同じように、神さまが何かを

してくださることだけを求めないで、自分でできるこ

とを積極的に実行していくことが必要なのです。そ

うすれば、一粒の麦であったイエスさまから多くの実

をみのらせることができますのです。

自分たちがどんなことができるかを考えて、次の
空白に書いて下さい。

